

めあて

二つの文章の要旨を読み取ろう。

《文章構成表》

結論	本論	序論	雨のいろいろ
⑧	⑦～②	①	
まとめ	雨やその降り方を表す言葉と季節ごとの降り方の特徴	話題提示	数え方でみかく日本語
⑫～⑩	⑨～⑥	⑤～①	
まとめ	日本語の数え方の役割	話題提示	

《二つの文章の筆者の主張》

雨のいろいろ	日本人は昔から季節ごとの雨に関心をいだき、多くの名前を付けたのだと考えることができませす。
数え方でみかく日本語	身近な数え方の疑問について、自主練習で日本語の力をみかく、これも「言葉の筋力」を呼び覚ます方法の一つだと思えます。

【2 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」②
本時のねらい

二つの文章の要旨を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 学習計画表を基に前時の学習を振り返らせ、本時の学習の見通しをもたせる。
- ※ 学習計画表は教室に掲示し、いつでも児童が確認できるようにしておくことと便利です。

2 「雨のいろいろ」「数え方でみかく日本語」を序論、本論、結論に分ける。

- それぞれの教材文を形式段落に分けさせる。
- ワークシートの文章構成表を基に、二つの文章の形式段落を序論、本論、結論に分類させることで、大まかな内容を読み取らせる。
- ※ 文章構成表の「雨やその降り方を表す言葉と季節ごとの降り方の特徴」「日本語の数え方の役割」という言葉を手掛かりにして、どちらの教材文も、まず本論がどの部分になるのかを考えていくと分けさせやすいです。

3 二つの文章の筆者の主張を読み取る。

- これまでの説明的な文章の学習を想起させ、序論の問題提示や話題提示を受けて、結論に筆者の主張が書かれているという文章構成を把握させる。
- それぞれの文章の筆者の主張が書かれている部分を見付けさせ、教材文に線を引かせる。
- どこに線を引いたか発表させ、全体の共有化を図る。
- 二つの文章の筆者の主張について、ワークシートの表にまとめさせる。

評価 二つの文章の要旨を読み取っている。
文章全体の構成を理解している。
(読む)
(言い(キ))

4 本時の学習の振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 意見文にまとめるときには、二つの教材文と同じように序論、本論、結論の文章構成で書くことを伝える。
- ワークシートで自己評価をさせる。
- 次時は、二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取っていくことを知らせる。